― こども図書館移転問題を考える・わたしたちのこども図書館プロジェクト ―

講演会

戦前・戦中・戦後の絵本

― あのころ、こんな絵本があった ―

子どもと本・図書館・平和を抱きしめて

２０２５年は、アジア・太平洋戦争敗戦および原爆被災から８０年を迎えます。戦争へと国全体が大きく傾いたあの時代、子どもたちは、どんな絵本を手にしていたのでしょうか。絵本研究や半世紀にわたる地域文庫の主宰で知られる正置友子さんが、「今だから。広島で」と、満を持してのお話を用意されました。絵本を通して、過去を学ぶ――いっしょにページを開きませんか。過ちを繰り返さないために。

講　師　：　絵本研究家　正置（まさき）友子さん
（青山台文庫・絵本学研究所主宰）

日　時　：　2025年２月１日（土）
１３：００～１６：００　(開場12：30)

場　所　：　広島市まちづくり市民交流プラザ
（合人社ウェンディひと・まちプラザ）
北棟６階 マルチメディアスタジオ
広島市中区袋町６番３６号
TEL（082）545－3911

参 加 費　：　５００ 円　（中高生以下無料）
定　　員　：　１００ 名　（要申込　先着順）

申込方法　：　お名前・連絡先（TEL）をご記入の上
下記メールアドレスへ
nikoniko39@hotmail.com
件名に「正置友子さん講演会」
とお書きください。

【正置友子さんプロフィール】
1940年名古屋市生まれ。愛知県立大学文学部英文学科卒業。2000年イギリス国立ローハンプトン大学大学院より、ヴィクトリア時代の絵本研究で博士号（PhD)授与。2018年大阪大学大学院より、メルロ＝ポンティの哲学を通しての絵本研究論文で博士号(学術)を授与。聖和大学(現関西学院大学)教授、特集展示「あのころ、こんな子どもの本があった－戦中・戦後の絵本から教科書まで－」(2006大阪歴史博物館）実行委員長、「国際児童文学学会（IRSCL）日本大会」(2007)実行委員長などを歴任。2008年 大阪府立国際児童文学館の統廃合反対運動にも中心的に関わった。現在、大阪にて青山台文庫(1973年創設)および、絵本学研究所主宰。
〈受賞歴〉伊藤忠記念財団 子ども文庫功労賞(2023)、日本児童文学学会特別賞(2024)
〈著作〉『A History of Victorian Popular Picture Books 』(風間書房2006)、『保育のなかの絵本』(共編著 かもがわ出版2015)、『イギリス絵本留学滞在記』(風間書房2017)、『メルロ=ポンティと〈子どもと絵本〉の現象学』(風間書房2018)、『生きるための絵本』(風間書房2023)ほか。

主　催　：　こども図書館移転問題を考える市民の会
お問合せ　大上（TEL・FAX 082-874-7687）
後　援　：　広島市、広島市教育委員会、中国新聞社